

フォトジャーナリスト

長倉洋海の眼

ぼくが世界

で出会った

子どもたち

長倉洋海ギャラリートーク 12月16日(日) 14時〜



ネパール、ドルポ 2008

2018年11月24日(土)―2019年1月14日(月・祝)

開館時間 = 9:00~19:00 ※1月は17:00まで

休館日 = 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月29日~翌1月3日)

観覧料 = 一般個人500円/大学生・高校生200円/中学生以下無料

※あゆーむ年間パスポート提示で200円引き

企画・協力 = 株式会社クレヴィス

主催・お問合せ・会場 =

白鷹町文化交流センターAYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

TEL. 0238-85-9071

あゆーむ

大学時代、探検部に所属し、アフガニスタンの遊牧民の取材などを通じて報道写真を志した長倉洋海。通信社勤務を経て、1980年にフリーランスのフォトジャーナリストになってから世界各地で取材を続けてきました。

世界の新聞や雑誌のトップを飾る“歴史の転換点”を求めてスタートを切った長倉が出会ったのは、困難な環境下に暮らす人々のたくましい姿でした。内戦、難民、貧困、差別……そこで誇り高く生きる人々に共感しながら、「一人ひとりを時間をかけて追いかけることで、見えてくるものがある」と、繰り返し現地に通いました。

そして、アフガニスタンの指導者マスード、エルサルバドルの難民キャンプで出会ったヘスースをはじめ、親を助けて働く子どもや「山の学校」で学ぶ子どもたちなどを長いサイクルで捉え、人々の深い思いを写真と文章で伝えてきました。

本展は、長倉洋海の38年間のドキュメントより、代表作から近作まで“激動の世界”の現場で密着取材した作品110点余を展示します。人間の強さ、やさしさに触れて切り取った写真は、見る人の心を静かに揺さぶり、時代を超えて残っていくと確信しております。カメラを手に旅を続ける写真家のメッセージから世界の多様性を感じとり、さまざまに想像を巡らせていただければ幸いです。



中国チベット自治区 2005



エルサルバドル 1982

関連イベント

■長倉洋海 ギャラリートーク

[日時] 12月16日(日) 14:00~  
[会場] ギャラリーおよび文化伝承室  
※入場には、当日の観覧券が必要です。

会期中のあゆーむイベント

■山形交響楽団あゆーむコンサート

[日時] 12月24日(月・祝)  
15:00開演(14:30開場)  
[会場] ホール  
[指揮] 村松秀明  
[入場料] 一般 ..... 2,000円(当日2,500円)  
高校生以下 1,000円(当日1,500円)  
※全席自由  
※未就学児の入場はご遠慮ください  
[定員] 200名  
[チケット] あゆーむほか  
[曲目] ベートーヴェン:交響曲第7番  
モーツァルト:ディベルティメントK.136  
モーツァルト:  
オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」序曲

アクセス

あゆーむ  
白鷹町文化交流センターAYu:M

[車] 山形市より国道348号線で約35分  
[電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行  
「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分  
[お問合せ] 0238-85-9071

